

井上 勝 (いのうえ まさる)**天保 14 年(1843)~明治 43 年(1910)****人物紹介**

〈通称〉勝 〈別名〉野村 弥吉 〈幼名〉卯八

鉄道官僚。萩藩士井上勝行の三男として萩に生まれる。6歳で野村家の養子となり野村弥吉（やきち）と名乗る。文久3年（1863）にロンドン大学へ留学し鉄道や鉱山を専攻、明治元年（1866）に帰国。その際、井上家に戻り井上勝と名乗る。

明治政府の鉄道事業に携わり、日本最初の鉄道を新橋―横浜間に開通。また、技術者育成に力を入れ、外国の雇入れ技術に頼らずに逢坂山トンネルを開通。明治23年（1890）初代鉄道庁長官となる。また、小岩井農場を開設。退官後も鉄道に携わり、明治43年（1910）鉄道視察中にロンドンで病死。享年68歳。

鉄道事業の第一人者として多くの路線を造ったことから「日本の鉄道の父」と呼ばれる。

資料紹介

伝記

- ・『子爵井上勝君小傳』村井正利/編 井上子爵銅像建設同志會 1915 Y289/I57
元鉄道庁事務官であった編者が、井上勝や鉄道の写真を交えて井上勝の生涯をまとめたもの。巻頭に銅像や肖像、大学の卒業証書の写真があり、巻末に勝自身の回顧録『日本帝国鉄道創業談』を掲載。
- ・『鉄道の父井上勝』三崎重雄/著 三省堂 1942 Y289/I57
鉄道従業員である著者が鉄道開業70周年記念日にあわせて出版。井上勝の生涯を描く。年譜あり。
- ・『東海道線誕生 鉄道の父・井上勝の生涯』中村建治/著 2009 Y289/I57
東海道線開通120周年にあわせて出版。井上勝の生涯と東海道線開通までの過程を小説風にまとめたもの。年表、参考文献あり。
- ・『井上勝と鉄道黎明期の人々 鉄道博物館 第3回コレクション展』
鉄道博物館学芸部/編集 鉄道博物館 2010 Y289/I57
鉄道博物館で開催された没後100年記念展の図録。井上勝を中心に明治期の鉄道に携わった人々を紹介。井上勝の役職の変遷が分かる職員録や大学卒業証書、銅像、墓などの写真も多数収録。年表、主要参考文献あり。

- ・『井上勝 職掌は唯クロカネの道作に候』老川慶喜/著 ミネルヴァ書房 2013 Y289/I57

多くの史料をもとに井上勝の生涯を描いた評伝。主要参考文献、略年譜、事項索引、人名索引あり。

人物紹介

- ・『長州ファイブ物語 工業化に挑んだサムライたち 萩ものがたり Vol.28』(p45-52) 道迫真吾/著 萩ものがたり 2010 Y215.8/P0
長州ファイブ5人の活躍を萩博物館の研究者である著者がまとめたもので、井上勝の生涯を分かりやすく紹介した小冊子。
- ・『国土を創った土木技術者たち』(p128-137)
国土政策機構/編 鹿島出版会 2000 510.2/N0
土木技術者の業績と生涯をまとめたもの。
- ・『密航留学生「長州ファイブ」を追って 萩ものがたり Vol.6』(p41-48)
宮地ゆう/著 萩ものがたり 2005 Y215.8/N5
井上勝が開設した小岩井農場についてまとめている小冊子。

子ども向け

- ・『きりり山口人物伝 Vol.3 夢チャレンジ』
夢チャレンジ出版事業刊行委員会/制作 山口県ひとづくり財団 2009 Y280/N7 (p67-83)
萩博物館学芸員による井上勝についての授業をまとめたもの。
- ・『土木技術の自立をきずいた指導者たち 井上勝・古市公威・沖野忠雄・田辺朔郎・広井勇 土木の歴史絵本 第4巻』(p2-7)
かこさとし/作 瑞雲舎 2004 Y510/N4
土木技術への理解のためつくられた「土木の絵本シリーズ」のうちの1冊。

視聴覚資料（館内視聴のみ可）

- ・『日本の鉄道の父 井上勝の挑戦 山口県ひとづくり財団設立記念特別番組』
TYS テレビ山口/制作著作
萩開府400年記念に制作された特別番組のDVD。

山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL : 083-924-2114 (調査・相談)
FAX : 083-932-2817
ホームページ : <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

ご紹介した本はごく一部です。このほかにも関連資料がありますので、詳しくはお問い合わせください。

作成日:平成28(2016)年8月30日